

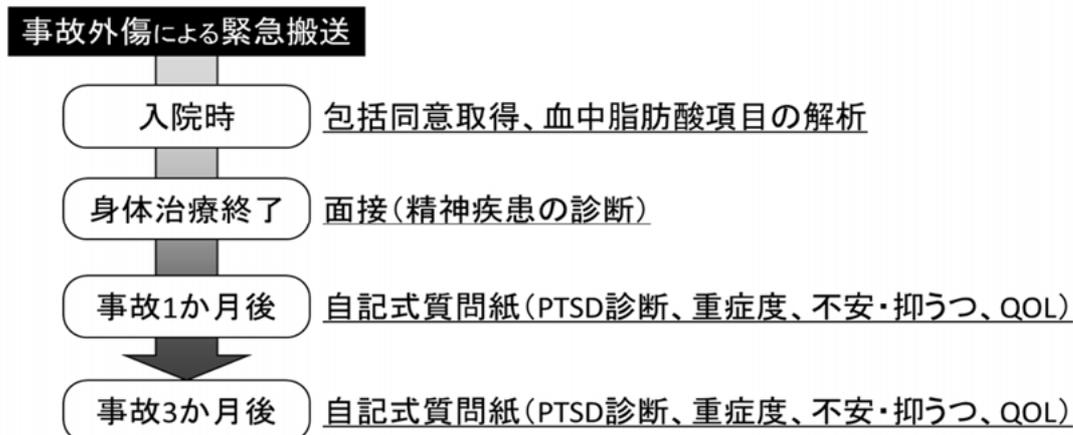
2019年度 若手・女性研究者奨励金 レポート

研究課題	血中不飽和脂肪酸の組成比の PTSD症状予防効果に関する研究 －救命救急搬送患者における縦断的観察研究－
キーワード	①PTSD、②不飽和脂肪酸、③PTSD 症状

研究者の所属・氏名等

フリガナ 氏名	イノウエ トモコ 井上 朋子	所属等	北里大学 医学部精神科学 助教
プロフィール	2008年3月兵庫医科大学を卒業し、同大学病院初期研修医を経て救命救急センター入局。2012年に北里大学心身総合救急医学講座にて研修。2013年4月より関西医科大学心療内科にて心身医学を学び、2015年4月より北里大学医学部精神科にて勤務。 救急科専門医、内科認定医、心療内科登録医、精神保健指定医取得。		

1. 研究の概要



救命救急センターに搬送となった患者を対象に、来院時の血液検査の残血を使用して血中脂肪酸を測定する。身体治療が終了して面接ができる全身状態となつてから、精神科医が精神疾患のスクリーニングを目的とした面接を行い、精神疾患が疑われる場合には研究対象から除外する。事故1ヶ月後と3ヶ月後に、自記式質問紙に回答してもらい、PTSD症状の有無や重症度、不安・抑うつやQOLを評価し、来院時の血中脂肪酸の値との関連について検討する。

2. 研究の動機、目的

私が救命センター勤務していた時、東日本大震災の救護班として被災地の避難所に行った際に、被災地での食事の問題を痛感した。その後、精神科でPTSDの治療について学び、PTSD患者の苦悩を目の当たりにした。その後、マウスを使った基礎研究で、飼料中の不飽和脂肪酸の含有比をコントロールすることでトラウマ体験後の恐怖記憶を大きく減少させることが見い出されていると知り、ヒトにおいても食事に含まれる不飽和脂肪酸の含有比をコントロールすることでPTSD症状を減らすことができるのではないかと、もしそうであれば、栄養療法(食事に含まれる不飽和脂肪酸のコントロール)によってPTSDを初めとする不安症状の予防、治

療への貢献が期待できるのではないかと考えるようになった。

そのための第一歩として、本研究では、救急搬送された患者の血中不飽和脂肪酸の比率と、トラウマ体験後の PTSD、不安抑うつ症状に関連があるかどうかを検討する。

3. 研究の結果

本奨励金は、本臨床研究の立ち上げに使用した。

精神科と救急科で協働して症例収集を行うシステムを構築し、そのシステムを始動して実際に症例収集を開始することができた。

4. 研究者としてのこれからの展望

トラウマ被害の直後に食事を通じて不飽和脂肪酸の含有比をコントロールすることで、その後の PTSD などの不安症状を予防できる可能性が示唆されれば、本研究結果を踏まえて今後以下のような展望を持てると考えている。

- ① 世界で初めて、PTSD の予防方法が見出される、
- ② 救急搬送患者、災害の被災者など、多くの被害者に対して、簡便、効果的に実施できる予防法が開発される、
- ③特に災害時には医療リソースが圧倒的に不足することが多く、血中脂肪酸値を調整した災害用の食料援助を考案することができれば、今後の災害時の「心のケア」対策において、画期的な貢献をすることができ、被災者の精神健康を改善し、復興支援につなげることが見込まれる。

私自身の展望としては、救命医と精神科医としての経験をふまえ、救命と精神科の橋渡しができるような、特に救命・災害現場における精神科臨床に貢献できるような研究を行いたいと考えている。

5. 社会に対するメッセージ

上記でも述べたように、今回の研究には、将来的に

- ① 世界で初めて、PTSD の予防方法が見出される、
- ② 救急搬送患者、災害の被災者など、多くの被害者に対して、簡便、効果的に実施できる予防法が開発される、
- ③特に災害時には医療リソースが圧倒的に不足することが多く、血中脂肪酸値を調整した災害用の食料援助を考案することができれば、今後の災害時の「心のケア」対策において、画期的な貢献をすることができ、被災者の精神健康を改善し、復興支援につなげることが見込まれる。

というような価値を生み出す可能性があります。災害大国日本において、近年毎年のように起こっている災害時に、被災者のみならず支援者支援の一端も担うことができるかもしれません。自然災害だけでなく、事故や犯罪にまきこまれて、元来健康に生きてきた方々が、思わぬ理不尽な出来事に遭遇してしまったばかりに PTSD 症状に長く苦しんでいる現状があります。そういった苦しみを味わう人たちをこれ以上増やさないように、PTSD に効果的な予防法や治療法が開発されることは大いに意義がある取り組みであり、引き続きご支援賜りますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。